



日南ロータリークラブ

UNITE
FOR
GOOD

~NICHINAN ROTARY CLUB since 1954 ~

よいごとのために手を取りあおう

2025-26年度クラブスローガン「臥薪嘗胆」

WEEKLY REPORT NO.19

| | | | |
|------------|------------------|--------------------|----------------|
| 第 3446回 例会 | | 開催日：2025年12月3日 (水) | 点鐘12:45 |
| 国歌 | 君が代 | 会員数 | 33 MU 1 |
| ロータリーソング | 奉仕の理想 | 出席免除 | 9(4) 欠席 2 |
| ロータリーの目的 | 斎藤奈々君 | HC出席 | 26 出席 27 |
| ゲスト | | 出席率 | 93.10% 先取MU 花盛 |
| ビジター | 中川彰伸氏 (宮崎東RC) | 出席免除 | 落丸、清水、渡邊、田島 |
| 例会行事 | 結婚誕生卓話 | 欠席者 | 榎木田、黒武者 |

会長時間（斎藤篤史会長）

本日は12月のロータリー月間である「疾病予防と治療月間」について、ロータリーが果たしてきた役割、そして私たちがこれから果たしていくべき責務についてお話をさせていただきます。ロータリーでは毎月ごとに特定のテーマを設け、奉仕の精神をより深く理解し、行動につなげる機会としております。その中でも「疾病予防と治療」は、ロータリーの歴史と使命の核心に位置するテーマであります。ロータリーが世界に示してきた「命を守る姿勢」「疾病予防と治療」は、ロータリーの7つの重点分野の一つであり、国際社会が直面する最も重要な課題の一つです。医療技術が進歩した現代にあっても、世界中にはまだ多くの病気、感染症、医療格差が存在します。病気は国境を越えて人々の生活を脅かし、社会を大きく揺るがします。ロータリーは創立以来、「健康を守るために行動する」という姿勢を大切にしてきました。その代表的な取り組みこそが、ポリオ撲滅活動（ポリオプラス）であります。ロータリーがポリオ撲滅に取り組んできた歴史は40年に及びます。1985年、ロータリーはポリオプラスを立ち上げ、世界に先駆けて「ポリオを地球上からなくす」という大胆な目標を掲げました。当時の世界には数十万のポリオ患者が存在し、毎年多くの子どもたちが麻痺を抱えて生きなければなりませんでした。医療も予防接種も十分でない国が多く、“撲滅”など不可能に近いと言われた時代の挑戦でした。しかしロータリーは信念を曲げませんでした。・ワクチン提供・予防接種の啓発・地域社会との連携・学校・行政・医療機関との協働、そしてなにより、世界中のロータリアンが現地に足を運び、子どもたちにワクチンを届け続けた、この行動力こそが成果を生んできました。その結果、

ポリオ常在国は“世界でわずか2か国”にまで減少しました。かつて「夢物語」と言わされた目標が、いま現実のものとなりつつあるのです。ロータリーの歴史の中でも、最も大きな貢献のひとつとして刻まれています。現代の疾病は、単に感染症に限りません。・生活習慣病・精神疾患・メンタルケア・介護を要する高齢者医療・ガンや心臓疾患など慢性疾患・孤独・ストレスによる健康問題、現代社会では、病気の形が多様化し、医療の役割もますます複雑になっています。特に日本では、超高齢社会を迎える、「病気と向き合いながら生きる」という考え方が求められる時代になりました。このような社会の中で、疾病予防と治療は「医療の話」では收まりません。ひとり一人が、どう健康を守り、どう生きるか。それを考えるテーマでもあります。ロータリーが「疾病予防」に重きを置く理由は明確です。それは、“病気にならない仕組みをつくることの価値”を誰よりも深く理解しているからです。倒れてから医者にかかるのではなく、倒れない生活をつくる。治療も大切ですが、予防こそ社会にとっての最大の投資です。家庭や職場でできる予防策は多くあります。・健診を受ける・生活リズムを整える・体を動かす習慣・食生活の改善・ストレスケア・メンタルの整え方。しかし、予防で最も大切なのは、「自分の体と心に向き合う時間を持つこと」ではないかと私は思います。忙しさの中で健康はつい後回しになります。ロータリーを支える皆さまだからこそ、健康もまた“奉仕の一部”として考えていただきたいのです。疾病予防と治療は、医学だけの話ではありません。治療とは、人を支える行為そのものでもあります。・話を聞く・寄り添う・励ます・孤独を減らす・つながりを提供する、これらはすべて“心の治療”になります。ロータリーが大切にしてきた「仲間を思いやる心」「地域に寄り添う姿勢」は、まさに治療の一つの形なのです。人は、体だけでなく心が支えられてこそ健康になる。その視点は、地域社会に生きるロータリアンに強く求められる姿勢だと感じています。世界は、ポリオのような伝染病だけではなく、新たな課題にも直面しています。特に深刻なのは メンタルヘルス の問題です。コロナ禍を経て、孤立やストレス、将来への不安から心を病む人が増えています。病気には見えない病気があり、診察室ではなく、家や職場、学校で静かに進行していく病気があります。こうした社会においてロータリーができるることは何か。私は、「つながりを生み、孤独を減らすこと」こそ非常に重要な役割であると考えています。ロータリーこそ、“地域におけるつながりの場”。居場所のある人は強く、つながりのある地域は健康になります。私たち日南ロータリークラブにとって、疾病予防と治療のテーマを「自分たちの活動とどう結びつけるか」が非常に重要です。活動例は多くあります。・青少年育成（心の健康への寄与）・道路清掃などの奉仕（地域の環境づくり）・少年野球大会協賛（子どもの健全育成）・わかば奨学金授与（若者の精神的支援）・高齢者・地域住民との交流、これらは一見「健康」とは直接関係ないように見えますが、実はすべてが“地域の健康を支える活動”につながっています。人がつながり、地域が元気であること。それこそが予防の土台。ロータリーは病院ではありません

ん。しかし、ロータリーは地域の健康を支える「心のインフラ」であり続けることができます。奉仕活動も、地域貢献も、会員の健康があつてこそ成り立ちます。・体の健康・心の健康・家族とのバランス・仕事との調和、どれか一つが欠けても健康ではありません。ロータリーは「奉仕の精神」を大切にしますが、同時に“自分を大切にすること”を忘れてはならないと思います。無理をしすぎる奉仕は続かず、続かなければ地域のためにもならない。だからこそ、まずは自分が健康であること。自分の人生が豊かであること。それがロータリー活動の基盤であり、疾病予防と治療月間を迎えて私自身が強く感じていることあります。疾病予防と治療月間は、単に病気を減らす月ではありません。それは、「誰かを思いやること」「地域を守ろうとすること」「人の痛みに気付くこと」そのすべてが疾病予防であり、治療であることを私たちに教えてくれます。ロータリーが世界に示してきた姿勢は、「一人のために動くことは、やがて世界を変える一歩になる」ということです。私たち日南ロータリークラブも、その精神を胸に、誰かのために、地域のためにできることを続けていきたいと思います。どうか皆さんも、お身体に気をつけ心身ともに健やかに共に歩んでまいりましょう。

幹事報告（菊池希樹幹事）

1. 日本事務局より、12月のロータリーレートのお知らせが届いております。 今月のレートは 1 \$ = 156 円となっております。(前月のレートは 1 \$ = 154 円)
2. 12月10日(水)の夜間例会(年次総会&忘年会)の出欠確認、再度回覧しますので、ご都合をご記入ください。
3. 11月4日付で釜山港都RCあてに、2024-25年度の週報、2025-26年度公式訪問報告書を送付し11月25日メールにてお礼のメッセージが届いております。
4. 地区事務所より別紙のとおり年末年始休業についてお知らせが届いております。
5. 宮崎北RCよりポリオ根絶!!チャリティーゴルフコンペのご案内が届いています
6. ロータリー日本財団日本事務局より”財団室 NEWS12月号”が届いております。
7. 国際ロータリー日本事務局より疾病予防と治療月間リソースのご案内が届いております。

結婚誕生卓話（菊池希樹君）

本日は誕生をお祝いいただき、ありがとうございました。私は12月26日で60歳の還暦を迎えます。節目でもありますので、今日は「還暦」について少しお話をさせていただきたいと思います。私が知らなかつただけで、皆さんにはご存じのことかもしれませんが、どうぞお聞きいただければと思います。改めて還暦について調べてみると、還暦とは「暦が還る」と書き、六十歳は生まれた年の暦に戻る年だそうです。干支といえば、私はずっと「子・丑・寅・卯・辰・巳……」の十二支のことだと思っていました。ところが、本来の干支は 十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）の組み合わ

せだそうです。十干というのは、古代の自然観をもとにした10種類の要素で、甲(きのえ)、乙(きのと)、丙(ひのえ)、丁(ひのと)、戊(つちのえ)、己(つちのと)、庚(かのえ)、辛(かのと)、壬(みずのえ)、癸(みずのと)の10種類。木(き)・火(ひ)・土(つち)・金(かね)・水(みず)の五行を、「陽(兄=え)」と「陰(弟=と)」に分けたものです。一方の十二支は、私たちに馴染みのある子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の12種類。この「10」と「12」が順番に重なっていくことで、全部で60通りの干支が生まれ、そして六十一番目で、また最初の組み合わせに戻る。だから六十歳は「暦が一巡する」—それが還暦というわけだそうです。余談ですが、私が生まれた昭和40年は己巳(つちのと・み)にあたり、今年の干支もまた己巳になります。そして私の一つ後の生まれの方は丙午(ひのえうま)となり、この年は出生率が大きく下がったと言われています。実際に出生数のグラフを見ると、昭和41年ははっきりと谷になっています。来年もまた丙午の年になりますので、もしかすると同じ現象が起きるかもしれません。なぜ丙午の年に出生率が下がるのか。調べてみると、十干の「丙」も十二支の「午」も、五行の中の「火」の性質を持つため、丙午は「火が激しく燃えさかる」とされ、強い運気の年とされています。また江戸時代の1666年の丙午生まれに、「八百屋お七」という若い女性がいました。恋しく思う男性に会いたい一心で、「火事が起きれば会える」と考え、放火事件を起こしたと伝えられています。この出来事から「丙午の女性は気性が激しく、夫の命を縮める」という迷信が広まり、それが丙午への恐怖心や出生率の低下につながったと言われているそうです。こうしたことを知りながら、改めて自分が六十歳を迎えるという事実を受け止めると、「人生にはさまざまな巡りや縁があるものだ」としみじみ感じます。そして六十歳という現実は、間違いなく寿命の折り返しは過ぎたわけですから、ここからの人生を、悔いのないように丁寧に歩んでいきたいと思います。

結婚誕生卓話（入中英雄君）

本日は誕生日のお祝をありがとうございます。今月の13日で50代最後の誕生日を迎えます。早いもので去年の誕生日はイタリアとバチカン市国で迎え、それからあっという間に1年が過ぎようとしています。バチカン市国と言えば今年の5月にコンクランジェロの最後の審判で知られるシスティーナ礼拝堂を懐かしく思います。と言ったところで、10月の結婚卓話の続きを話したいと思います。前回のおさらいです。日本を出発してボストンでボストン大学の講義を受けニューヨークに移動してニューヨークのナイトクルージングからナイトバスまで話をしました。翌日はフリータイムで午前中はニューヨークの街を日本人ドライバーのマイクロバスで街並みを楽しむバスツアーに申し込み出掛けました。まずは五番街を南に進み、BVLGARIからのLOUIS VUITTONからのPRADAと世界の一流ブランドが立ち並ぶ通りを走っていると、今年世界を騒がせたトランプ

タワーが見えてきました。きらびやかな金キラ金の入口に星条旗、いかにもという感じの趣のトランプタワーでした。次に見えてきたのが日本のブランド、UNIQLOです。ここで皆さん、考えてください。ユニクロのニューヨークでの一ヶ月の家賃の金額はいくらでしょうか。1番近かった方に景品を差し上げたいと思います。ネットで調べるのは禁止です。5番街をさらに南下すると海外には必ずあるスケールの違う教会、セント・パトリック大聖堂。1879年に建てられた歴史あるネオゴシック様式の大聖堂でした。続いて向かったのがアメリカ同時多発テロ事件の起きた場所、グラウンドゼロ。静かで重く、敬意と追悼の空気が満ちている場所でした。そのそばで2014年に開業したビルでワン・ワールド・トレード・センタービル、尖塔部分を含め約541m、104階と世界で6番目に高いビルだそうです。先日2年前まで日本で1番高いビルアベノハルカスを見ましたが低く感じたのは言うまでもありません。他にもいろんな所を見ました。ウォールストリート・中華街・リトルイタリア等々、半日ニューヨークのマンハッタンを見て廻りましたがスケールの違いに圧倒されまくりました。市内観光は半日で終わり、午後からは本場ブロードウェイのミュージカル、ライオンキングを4人で見に行きました。フライングで先日話しましたミュージカル2時間半の公演チケット代は約4万5千円と超高価でしたが、さすがに英語を聞いていると時差ぼけその他もろもろで眠くなりますよね。結局、20分ぐらいしか見ていない私は、1分で2,250円を支払ったことになり本当に高い高い昼寝の時間になりました。翌日、ニューヨークを後にしてハワイを経由して帰ります。飛行時間11時間ですので結構長かったです。ハワイ到着後ディズニー系列のアウラニーホテルに向かうのに、割安なウーバータクシーを使いました。ホテルに到着してすぐ携帯電話をタクシーの車内に忘れたことに気付き、タクシーを手配してくださった方にアプリを使って携帯を忘れたとウーバータクシーに問い合わせてもらったのですが、「海外電話なので折り返すことが出来ません。」の一点張りでした。それでもしつこく問い合わせてくださった方のアプリはしまいには使えなくなるという始末でした。迷惑をかけた上にとうとう私の携帯電話はホノルルに置き去りのままになり、クラウドにあげていなかつたためボストン・ニューヨークの写真を半分くらい失くしてしまいました。昨年のイタリアの写真もほとんどなくなってしまい、今度からはちゃんと保存しておこうと思っていますが、性格上まだほとんどできていないのがずぼらな、学習しない私ではないかと反省しています。その後は携帯を失くしたことで気分がのらないままでしたが、気持ちを切り替えてせっかくの旅を楽しむことにしました。10数年ぶりかと思いますが海に入り、海水浴を楽しみ、夜はアルコールを楽しみ、次の日からはレンタカーを借りてワイキキに移動しました。幼稚施設を訪問して、その後真珠湾戦艦アリゾナ記念館。第二次世界大戦で起こった出来事の写真や、回収された品々が展示しており、二度とこのような歴史を繰り返してはならないと改めて思いました。その後はメジャーな観光地を廻り、ダイヤモンドヘッド、サンセットナイトクルーズなどに

行きました。次の日、朝からワイキキビーチで泳ぎながら朝日を撮影して、あとは昨日同様メジャーな観光地、カメハメハ大王の像からの「この木なんの木気になる木」でおなじみの有名な日立の木にも行きました。携帯を失くしたのはかなり痛かったのですが、ハワイを堪能して帰国しました。帰国後次の日からは甑島に行くことになりましたので、10日ほど家にいなかったことになります。今回の旅で教訓になったことは、海外では携帯電話や大事なものは肌身離さず持っている事が大事だという事です。携帯電話が復活したのは結局20日ほどかかってしまい、色々な方から「携帯がつながらない！！」と言われました。今度は失くさないように首からぶら下げるアイテムを買いました。ちなみに携帯を失くした時に無駄だと分かっていてもホノルル空港に遺失物届を出しました。結果、ホノルル空港から「ただいま検索中です。」という途中経過のメールがたびたび届くようになりました。本当に迷惑な乗客ですよね。と反省したところで本日の話を終わりたいと思います。

結婚誕生卓話（竹井克己君）

ご自身のお仕事とこれまでの人生についてお話いただきました。

スマイル

峰松俊夫君：ガバナー月信12月号42ページに地区大会に参加した際の講演感想が掲載されていました。原稿料はもらっておりません。あくまでスマイルとして自腹出費します。

古澤昌子君：出席既定の適用の免除をいただき有難うございます。今年も無事に終わりました。感謝を込めてスマイルします。干支壺の詰め口の風景をニュースに取り上げていただきました。来年は良い年でありますように！！



| | |
|-------------|---|
| 日南RC事務局 | 〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2階 創客創人センター内 TEL : 0987-22-3363 FAX : 0987-22-3515 |
| 2025-2026年度 | 会長：斎藤篤史 副会長：入中英雄 幹事：菊池希樹 雑誌広報委員長：西島元利 例会：毎週水曜日 12:45~13:30 会場：ホテルシーズン日南 (TEL : 0987-22-5151) |

※例会内でお話いただいた内容の原稿は soumu-nishijima@aisenkai-nichinan.jp まで送信ください。